

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1261
施設名	南篠崎おひさま保育園
施設所在地	江戸川区南篠崎町5-13-40
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

積み木・造形遊び

<テーマの設定理由>

広い空間のホールがある当園の環境を活かし、「積み木・造形遊び」をテーマとして設定する。ごっこ遊びをする中でたりない物があると絵で描いたり、廃材等を利用してイメージを形にしたり、切り紙をして偶然出来る形を楽しむ姿が見られることから、想像力をさらに膨らませて構成・創造することへの興味関心を深め、表現力を広げるため。

2. 活動スケジュール

2025年9月30日 場所：ホール・・・カプラ遊び

2025年10月28日 場所：ホール・・・カプラ遊び

2026年1月～ カプラ遊びに向けて、クラスで廃材を使った乗り物制作を始める。

2026年2月6日 場所：ホール・・・制作物を使ったカプラ遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・カプラの量を増やすと共に、色付きの物も準備した。
- ・木製の人形や木の玩具を準備した。
- ・廃材制作用としてセロハンテープやビニールテープ等を準備し、室内遊びの中で自由に組み立てるよう環境を整えた。
- ・制作用の棚を準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【2025年9月30日】

ホールでカプラを一人で積み上げる競争をした後、友達とグループになって高く積み、その後、他グループが作った物との間に線路等を作って繋げ、協力して作る楽しさを感じていった。

【2025年10月28日】

前回の振り返りを行い、その後は好きな物を自由に作り上げられるようにしていった。駐車場を作る子が多かったのでコンピカーを準備して遊びに取り入れた。

【2026年1月～】

室内遊びの中で廃材制作を行い、積み木遊びに取り入れて遊びを広げられるようにした。

【2026年2月6日】

ホールでカプラをした。作りたい物の題材を子ども達に考えて貰い、子ども達の案を取り入れて作る物を決めた。作る際は、作りたい物ごとグループに分かれた。また、室内遊びの中で作った制作物も遊びに取り入れ、遊びを広げていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【2025年9月30日】

カプラだけを使って全員で遊ぶのは初めてだったので、とても楽しみにしている子が多かった。積み上げて高さを競うと、真剣な表情も見られ、倒れてしまっても繰り返し取り組む事ができていた。グループになって積み上げると、友達と協力する様子も多く見られるようになり、高くなると「見て」等と保育者に見せて喜ぶ姿もあった。

【2025年10月28日】

自由に積み上げたりして遊ぶだけではなく、作る物を『建物』と設定をして取り組んだ。マンションや家等、身近な建物を作る姿が見られた。又、テーマパークや動物園等それぞれイメージを膨らませながら楽しむこともできていた。「車が欲しい」といった声があり、カプラでの表現の難しさに気付く姿もあった。

【2026年1月～】

初めは廃材を繋げたり、テープを自由に貼る事を楽しんだりしていたが、ハサミを使って形を作る子や靴を作る子の姿が見られるようになると、真似をして作ってみようとする様子が増え、イメージを持ちながら作り上げる姿も見られるようになった。

【2026年2月6日】

作りたい物を保育者が聞くと、家や迷路等を作りたい子が多かったので、作りたい物が同じ子同士でグループに分かれて取り組めるようにしていった。作りたい物が同じだった事で、話しをしながらイメージを共有している様子も見られた。廃材制作で作った車も取り入れた事で、遊びを広げながら楽しむ事もできていた。



5. 振り返り

カプラの量を十分に準備できた事で、存分に想像力を広げて楽しむ事ができた。子どもの遊びだけでは高く積んだり形を作り上げたりするのは難しい部分もあったので、保育者と一緒に遊びながら積み方を知らせていった。また、今回は保育者が手本を提示する形になってしまふ事が多かったので、年長児と一緒に遊ぶ中で積み方や作り方を学んでいく等、子ども達同士での学びに繋がれると良かった。全体で遊ぶ時だけでなく、日頃の遊びの中でもカプラを楽しみ、その中で積み方や作り方を学び、皆で取り組む際に発揮できるような取り組み方をしていきたいと思った。